

A=おおむね達成した
 B=達成しているが改善余地あり
 C=達成していない
 D=取り組んでいない

資料3-2

②改善・新規活性化7事項

項目		内容	達成時期
■前年度からの継続事項	R1 結果		
1. 議会図書室機能の整備	C	①新庁舎供用後の図書室運用に向け、電子図書の位置づけ、文書・図書の管理ルール等を規定した「(仮)議会図書室管理要領」を策定する。 ②電子図書室データの管理ルールを検討する。	R2年10月
2. 町民意見の協議経過の明確化	C	・R2年度に実施する住民評価(アンケート)結果から、住民参加ツールの課題を抽出し、ツールごとの改善案を検討する。 ・検討した改善案の試行と次年度の住民参加ツールのあり方検討に繋げる。	R3年 3月
3. 情報提供と説明の充実	C	・住民アンケート結果をもとに、具体的な情報提供手法・手段の検討を行う。	R3年 3月
4. ICTの継続的な活用	B	・議員及び議会モニターアンケートによる現行HPの改善点を抽出・整理。 ・CMS移行ページ確定、費用の算定。 ・実行計画から予算措置。	R3年12月
5. 議会モニター制度の機能拡充	B	・R1年度のモニター会議結果及び無作為抽出による公募状況から、改善内容の振り返り(検証)を行う。 ・R1年度検証結果から、R2・R3年度モニター制度のあり方を再検討する。(イレギュラー対応含む)	R3年 3月
6. 町民との意見交換会の改善	C	・R2年度に実施する住民評価(アンケート)結果から、町民との意見交換の課題を抽出し、改善点を検討する。 ・これまでの意見交換以外の新たな手法の検討を行う。	R3年 3月
7. 外部評価手法の確立	B	・アンケート方式の住民評価の実施・集約・分析から議会活動へ反映 ・「議会基本条例に基づく議会活動について」の客観的評価手法を検討し、令和3年度での試行に繋げる。	R4年 3月

進捗工程表

達成時期：R2 年 10 月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R2 活性化策 1. 議会図書室機能の整備

【現状】

- 議会図書室の規定がない
- 電子図書室のデータ管理規定がない

【目指す姿(目標)】

- 利用しやすい議会図書室となる
- 限りあるクラウド容量を効果的に活用する

【課題・政策】

- 管理（購入・導入、貸出、廃棄等）の明確化
- 町の「電子文書管理規定」の整備方向と連動した管理ルールの整備

[取組内容]

- ①新庁舎供用後の図書室運用に向け、電子図書の位置づけ、文書・図書の管理ルール等を規定した「(仮)議会図書室管理要領」を策定する。
- ②電子図書室データの管理ルールを検討する。

[工程詳細]

項目	R 元年度		R 2 年度		R 3 年度		R 4 年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
他事例研究			←→						
案策定・協議			←→						
管理規定整備				10月					

[R元年度評価] ⇒ 未達成:継続

進捗状況	他議会の事例調査にとどまる。									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	令和2年度、新庁舎への移転・議会図書室の共用開始までには、規定の策定を完了する。									

[R2年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R3年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R4年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

進捗工程表

達成時期：R3年3月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R2 活性化策2. 町民意見の協議経過の明確化

【現状】

○結論（結果）に至るまでの経過・理由が分からない。

【目指す姿（目標）】

●町民自らの意見が、どのように協議されているのか知ることができる。

【課題・政策】

➤ いつの意見が、いつ議会で協議・調査されているか、住民参加ツールごとに経過を明確にする。

[取組内容]

- ・意見交換等で出された意見等、議会内での協議経過から政策形に至る過程を「見える化」する手法を検討・試行する。
- ・[R2] R2年度に実施する住民評価（アンケート）結果から、住民参加ツールの課題を抽出し、ツールごとの改善案を検討する。
- ・[R2] 検討した改善案の試行と次年度の住民参加ツールのあり方検討に繋げる。

[工程詳細]

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
議会だよりの「追跡！一般質問」の継続									
「明確化」手法の検討									
住民評価からの課題抽出									
課題検討とツールの改善									

[R元年度評価] ⇒ 未達成:継続

進捗状況	議会だよりの「追跡！一般質問のその後」は継続したが、別手法・手段の具体的な検討には至らなかった。									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	「議会モニター制度の機能拡充」と「町民との意見交換会の改善」に関しては、新たな手法を導入するなど、一定の工夫を行った。 R2年度に実施する住民評価（アンケート）から得られる結果から、より良い手段を検討していく。[達成時期：R3年3月]									

[R2年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R3年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R4年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

進捗工程表

達成時期：R3年3月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R2 活性化策3. 情報提供と説明の充実

【現状】

- 町の予算のサイクル等が町民に分かりづらい
- 議会活動に対する町民の認識度が低い

【目指す姿(目標)】

- 町民の視野を広げより深い議論ができる
- 議会の基本を知ってもらい、議会と交流できる

【課題・政策】

- 議会活動・情報をよりの確・効果的に町民へ提供するための手法・手段の工夫・改善

【取組内容】

- ①「7. 外部評価手法の確立」と連動し、評価を通じて議会活動の情報公開と住民との共有を行う。
 - ②「6. 住民との意見交換会の改善」と連動し、多様な住民参加の促進を通じて議会活動の情報公開と住民との共有を行う。
- ・ [R2] 住民アンケート結果をもとに、具体的な情報提供手法・手段の検討を行う。

【工程詳細】

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
外部評価手法の検討		→							
住民との意見交換会の改善検討		→							
効果的な情報提供手法・手段の検討			→	→					

[R元年度評価] ⇒ 未達成:継続

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価手法（無作為抽出・アンケート）の実施に向けた検討、PTAとの意見交換の意見に対する回答・報告方法の改善検討、意見に対する常任委員会内での対応協議を行い、年度内にまとめて各PTAに回答を送付した。 情報提供手法・手段に絞り込んだ詳細な議論には至らなかった。 町民活動支援センターまつりにおいて議会活動紹介をする予定であったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。 										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他	
備考	今後、実施する住民アンケート結果をもとに、情報提供手法・手段の具体的な検討を行う。[達成時期：R3年3月]										

[R2年度評価]

進捗状況											
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他	
備考											

[R3年度評価]

進捗状況											
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他	
備考											

[R4年度評価]

進捗状況											
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他	
備考											

進捗工程表

達成時期：R3 年 12 月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R2 活性化策 4. ICT の継続的な活用

【現状】

- ページ更新の一部を外部に作業委託
- 特定のアプリによる議会中継視聴
- 中継動画単独での視聴

【目指す姿(目標)】

- 情報の検索性・即時性が高く必要な情報が入手しやすいHP
- 審議内容が分かりやすいHP

【課題・政策】

- 完全CMS化により更新の即時性を向上する
- 議会中継・HP運用システムを更新し動画と議案を同時に視聴できるようにする

[取組内容]

- ・ 議会ホームページ強化に向けた検討を行う。
- ・ [R2] 議員及び議会モニターアンケートによる現行HPの改善点を抽出・整理。
- ・ [R2] CMS移行ページ確定、費用の算定。
- ・ [R2] 実行計画から予算措置。

[工程詳細]

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
現行のHPの課題整理	→								
HPの改善方向の整理	→								
改善点抽出・整理			→						
新HP移行ページ確定、費用算定・実行計画策定・予算措置			→	→					
移行準備・移行作業					→	移行			

[R元年度評価] ⇒ 概ね達成:継続

進捗状況	・今年度は、現行の議会HPの課題調査を行い、結果として、現行の単独運用の将来性とコスト面で、町HP同様のクラウドへの移行がCMSシステムの活用、運用コスト面で有利との判断をした。									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	・R2年度には、R3年度予算措置に向けて、議員及び議会モニターアンケートによる現行HPの改善点の整理、CMS移行ページ確定等を行う。 [達成時期：R3年12月]									

[R2年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R3年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R4年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

進捗工程表

達成時期：R3年3月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R2 活性化策5. 議会モニター制度の機能拡充

【現状】

- モニター候補者の固定化
- モニター意見の議会内での議論経過が見えない

【目指す姿(目標)】

- 町民の議会に対する理解が広がる
- モニター自身がより課題意識を持って主体的・積極的に会議に参加する

【課題・政策】

- 潜在的な関心層を掘り起こす
- 会議に主体的に臨めるような手法の改善

【取組内容】

- ①モニター公募方法の改善（無作為抽出など）を検討し、試行する。
- ②モニター会議の開催手法（テーマ設定、ファシリテータの設置等）の改善を検討する。
 - ・[R2]R1年度のモニター会議結果及び無作為抽出による公募状況から、改善内容の振り返り（検証）を行う。
 - ・[R2]R1年度検証結果から、R2・R3年度モニター制度のあり方を再検討する。（イレギュラー対応含む）

【工程詳細】

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
無作為抽出を含むモニター選考のあり方を検討			→						
モニター会議のテーマ設定・会議手法の検討			→						
R1実施結果の検証（会議・無作為抽出）			→						
R2会議運営の改善検討			→	→					

[R元年度評価] ⇒ 概ね達成:継続

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・住民アンケートの実施に向けた検討の中で、併せて、議会に関心を持つ人に「モニター候補」として手を挙げてもらうための「無策抽出」によるモニター選考方法を検討し、実施準備を行った。 ・第1回モニター会議で出された意見を分類し、その中から第2回会議テーマとするもの数点を抽出。第2回会議では、モニター自身が関心のある事項を議論のテーマとして開催した。 									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	<p>R2年度実施予定の第3回会議では、第2回会議で議論テーマとして事項に対する委員会の調査経過・結果を報告する。報告後の会議進行のあり方は、4月以降検討する。</p> <p>次年度の会議進行、テーマのあり方などは、モニターの意見を参考として改善に繋げていく。[達成時期：R2年6月]</p>									

[R2年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R3年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R4年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

進捗工程表

達成時期：R3年3月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R2 活性化策6. 町民との意見交換会の改善

【現状】

- 意見交換を通じて、町民の真の課題を引き出せていない。
- 意見交換グループ内の情報共有ができていない

【目指す姿(目標)】

- 町民意見の背景・理由を掘り起こす対話ができる。

【課題・政策】

- 会議のメンバー、テーマ等に適した会議形式を採用し実施する
- 会議進行手法の改善する

[取組内容]

- ・ 真の情報共有化を進め住民参加を促進することを目的として、これまで実施してきた住民参加手法の検証と新たな手法の検討を行う。
(※7. 外部評価手法の確立と連動し、住民評価の結果を参考として実施する。)
- ・ **[R2]** R2年度に実施する住民評価（アンケート）結果から、町民との意見交換の課題を抽出し、改善点を検討する。
- ・ **[R2]** これまでの意見交換以外の新たな手法の検討を行う。

[工程詳細]

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
住民参加ツールの実施にあたっての課題検討		→							
住民参加ツールの課題改善手法の検討		→							
住民評価からの課題抽出			→						
既存意見交換の改善検討				→					
新たな手法の検討				→					

[R元年度評価] ⇒ 未達成:継続

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAとの意見交換の実施にあたり、意見集約、課題抽出から常任委員会での議論へ繋げ、意見に対する回答としてまとめた。 ・第1回モニター会議で出された意見を分類し、その中から第2回会議テーマとするもの数点を抽出。第2回会議では、モニター自身が関心のある事項を議論のテーマとして開催した。 									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・町民意見の背景にある課題を細分化し、課題のポイントを明確化していく。 ・R2年度は、住民評価の結果から、より良い意見交換の姿、あり方を協議していく。[達成時期：R3年3月] 									

[R2年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R3年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R4年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

進捗工程表

達成時期：R4年3月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R2 活性化策7. 外部評価手法の確立

【現状】

○議会活動評価が議員自己評価にとどまってお
り適正かつ公正な評価となっているのか

【目指す姿(目標)】

●議会基本条例の基本理念に則った議会活動
を継続する

【課題・政策】

➤ 客観的（第三者）評価手法を確立する

[取組内容]

- ・住民から見える「議会活動の評価」手法を確立し、今年度の議会活動実績評価からの試行を目指す。
- ・[R2] アンケート方式の住民評価の実施・集約・分析から議会活動へ反映
- ・[R2] 「議会基本条例に基づく議会活動について」の客観的評価手法を検討し、令和3年度での試行に繋げる。
- ・[R3] 新たな評価手法の検証と必要に応じて仕組みの見直しを実施する。

[工程詳細]

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
住民評価手法の検討			→						
評価（アンケート）実施・集計・分析			→						
議会基本条例に基づく議会活動の評価手法の検討			→						
新たな評価の試行・実施と仕組みの検証・見直し					→ 試行	→ 検証			

[R元年度評価] ⇒ 概ね達成:継続

進捗状況	<p>・住民評価の検討の中で、2つのパターンを提案してきた。その中で、今年度は「議会の活動全般に関する認識度を高める」「議会に関心を持つ町民層を増やす」の2点を目的に、「アンケート方式」の評価手法について中心的に検討した。 結果として、町民700人を対象とした無作為抽出によるアンケートを、4月から5月にかけて実施し、アンケート結果は、次年度の議会活性化計画の議論に反映する。</p>										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他	
備考	<p>・評価議論の中で「議会基本条例に基づく議会活動について」の客観的評価手法については、引き続き、次年度において検討することとした。 [達成時期：R3年3月]</p>										

[R2年度評価]

進捗状況											
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他	
備考											

[R3年度評価]

進捗状況											
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他	
備考											

[R4年度評価]

進捗状況											
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他	
備考											

元年度活性化策

進捗工程表

達成時期：R2年4月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R1 活性化策 8. 議会白書作成ルールの策定

【現状】

○議会白書の作成ルールが無い

【目指す姿(目標)】

●一定の質と量を備えた議会活動情報が公開される

【課題・政策】

- 白書の「目的」「発行責任者」「構成や内容」を定める
- 白書の「発行時期」「作成過程」を明確にする

[取組内容]

- ・議会基本条例第10条第4項の規定に基づき、議会白書策定のルールを定める。

[工程詳細]

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
現行白書の課題点と他事例の情報収集		→							
議会白書作成要領案の検討と決定		→							

[R元年度評価] ⇒ 達成:完了

進捗状況	・ 現行の議会白書の構成を基本として、他自治体議会の事例を参考にし、要領案を検討、決定した。[R2年3月12日全協決定]									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	議会白書は、横書き・A4縦を基本として、読みやすい文字（ユニバーサルデザイン）で調製する。 また、毎年発行する「概要版」と、4年の議員任期の活動を網羅した「任期版」、「完全版」を必要に応じて発行する。									

[R2年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R3年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R4年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

元年度活性化策

進捗工程表

達成時期：R2年4月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R1 活性化策9. 議会活性化・政策形成のあり方検討

【現状】

○議会の政策課題（抽出事業）の議論プロセスが住民から見えにくい・共有されていない。

【目指す姿(目標)】

- 政策立案に至るプロセスの見える化
- 議会活動への住民参加促進と課題の共有

【課題・政策】

- 議会が持つ政策課題（特に、常任委員会の抽出事業）と議論経過を住民と共有できるツールの運用

[取組内容]

- ・議会の取組みの「見える化」を図るため、従前の議会活性化策に加え、各委員会の政策課題を一元的にマネジメントする手段を検討・確立する。

[工程詳細]

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
(仮)議会実行計画のあり方の検討			→						
政策課題・活性化策目的の見える化手法の検討			→						

[R元年度評価] ⇒ **目標達成:継続**

進捗状況	・従来の議会活動を振り返り、通年議会の利点を活かし住民と成果を共有するための議会活性化・政策形成のあり方を検討し、「あるべき姿から解決策へ」と導く「バックカスティング」の考え方による『議会実行計画』と、政策課題・活性化策の見える化を目的とした『進捗工程表』を作成した。									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	今後は、政策課題・議会活性化策を一元的にまとめた議会活性化計画を運用していく。[達成時期：R2年4月]									

[R2年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R3年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R4年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

元年度活性化策

進捗工程表

達成時期：R2年4月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R1 活性化策 10. クールビズの期間拡張の検討

【現状】

○気候変動等に伴い庁舎内の執務環境の変化が激しい

【目指す姿(目標)】

●快適な執務環境と効率的な公務が実現

【課題・政策】

- 町の「軽装推奨月間」との関係調整
- 議会・委員会における服装規律との調整

[取組内容]

- ・近年の気候変動等による執務環境の変化に対し、環境改善方策として、クールビズ期間の拡張について検討する。

[工程詳細]

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
現行制度と町の「軽装推奨月間」内容の確認		→							
今後の制度検討		→							

[R元年度評価] ⇒ 達成:完了

進捗状況	・町が当面、試行として行う「軽装推奨月間（5月・10月）」の動向、新庁舎移転後の執務環境の変化（執務環境の集約化、空調の改善など）を考慮し、当面はクールビズの拡張を行わず、町の「軽装推奨」に合わせていくこととした。 [R2年2月20日全協決定]									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	※「軽装推奨月間」: 気候が不安定な春・秋に、日々の温度や湿度に応じて、職員個々が職場環境に応じた適切なコンディションで勤務することにより、能率的・効率的な公務の遂行に寄与することを目的として試行するもの。									

[R2年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R3年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R4年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										